

日本風景街道の活動を通じた道路美化の取り組み

～のしろ白神の道（秋田県能代市）、 ふくしま浜街道ハッピーロード（福島県浜通り）～

国土交通省 東北地方整備局 道路部

1. はじめに

住民、NPO、企業など地域が主体となって、行政と連携しながら、道を舞台に地域ならではの風景や自然、歴史、文化などの資源を活かした美しい景観づくり・地域活性化・観光振興を行う「日本風景街道」の取り組みが、平成19年度から進められています。東北管内では21ルートが登録されています。その中でも、特に地域の創意工夫で美しいみちづくりをしている二つのルートをご紹介します。

2. のしろ白神の道について（秋田県能代市）

「のしろ白神の道」は秋田県北地域の国道7号や秋田自動車道を中心とした総延長約200kmのルートです。日本三大美林の秋田杉や黒松といった針葉樹、世界自然遺産である白神山地のブナ林など四季折々に表情を変える広葉樹を多く目にすることができます。このエリアで活動している「のしろ白神ネットワーク」は沿道を歴史と文化の薫る風景街道に育てていくことを目的に立ち上げられ、市民により身近に木の街を感じてもらえるような「木の香る道づくり」などの取り組みを進めています。活動には道路管理者と共に「能代バイパス黒松友の会」や「街道カフェ夢工房咲く咲く」、「秋田県立大学木材高度加工研究所」などが参画しており、民学官協働の取り組みとなっています。



3. のしろ白神の道の活動について

■木製防護柵塗装イベント

「木の香る道づくり」の一環で木製防護柵塗装イベントを平成29年度より毎年開催しています。国道7号沿いに設置している横断防止の木製防護柵の耐久性向上と景観美化を目的として、市広報や沿線の学校訪問等を通じてボランティアを募り、木製防護柵を参加者の手で塗装す



▲記念品の秋田杉コースターなど

るイベントです。

今年は地元の中学生在が参加するなど、地域の方との交流により実施しており、イベント参加者には、秋田杉を活用した木製コースター等、手作りの記念品を贈呈しています。



▲木製防護柵塗装イベントの様子

■太平山パーキングエリア活用イベント

内装に秋田杉をふんだんに使用した秋田自動車道太平山PAにおいて、木材利用や地域の魅力を発信し、秋田県北・能代山本地域の地域活性化やルートの周知を目的としたイベントです。秋田杉製品や味噌たんぼ等地域の物産販売や秋田杉製ベンチ等による休憩コーナー、高速道路や観光の情報提供などを通して、木材の利活用の提案を行っています。取り組みに関するアンケートに回答いただいた方には、花苗や秋田杉アロマオイル（NEXCO 提供）等をプレゼントしています。



▲屋台や秋田杉ベンチ等によるおもてなし空間



▲秋田杉木工品の展示販売

■のしろ市民まちづくりフォーラム

市長や市民と共に各地域の先進的な取り組みや考え方を学ぶことにより、知恵を共有し、新たな連携や活動を見出すため、平成18年度より毎年開催しています。風景街道や地域づくりの活動先進地からの講師による講演や来場者と共にフロアディスカッションを行う等の一般参加型イベントで、例年約70人の市民や行政関係者等が参加しています。

また、会場では能代山本地域の景観写真とビューポイントマップを展示し、観光資源の再発見を発信しています。



▲令和元年度のしろ市民まちづくりフォーラムの様子

■広報の取り組み

のしろ白神ネットワーク HP、能代河川国道事務所 HP、能代市の広報、関係者の HP・Facebook、道の駅「ふたつ」での情報コーナーの設置など、多様なツールで情報発信をしています。

今年度からは、ルート沿いにある道路情報板への「日本風景街道のしろ白神の道」の二カ国語表示や、日本風景街道ロゴマークとルート名が印字されたシールを道路照明柱等に貼るなど、認知度向上に向けた取り組みを始めています。



▲のしろ白神の道HP



▲道の駅「ふたつ」展示コーナー



▲ルート名標示

4. ふくしま浜街道ハッピーロードについて（福島県浜通り）

「ふくしま浜街道ハッピーロード」は福島県浜通り地方の国道6号や常磐自動車道を含む総延長約230kmのルートです。東は太平洋を望み、多様で美しい自然や温暖な気候、海・山・川の豊かな自然に恵まれています。このエリアで活動している「ハッピーロードネット」は福島県民及び一般市民に対して、まち・みち・地域づくり、景観づくりの推進活動等に関する事業を行い、楽しく住みやすい地域社会の実現を目指し活動しています。



5. ふくしま浜街道ハッピーロードの活動について

■ふくしま浜街道・桜プロジェクト

国道6号のいわき市から新地町までの総延長163km区間内及び沿線区市町村道に、世界一の桜並木をつくり、地域の魅力を高めようとする取り組みです。震災前のまちづくりフォーラムにおいて、地元で就職したいと願う高校生の「国道6号を美しくすれば企業が来てくれる」との提案から始まりました。浜通り地方に元気と安らぎを与えられるような道づくりを目指し、地域住民やボランティア等が実施団体となり、道路の法面や緑地帯にこれまで約1万1千本の桜を植樹しています。将来的には約2万本の植樹を行う計画で、できた桜並木を東日本大震災や原発事故からの復興のシンボルとして後生に語り継ぎたいと考えています。活動内容も年々ボランティアスタッフが増え、全国からの大学生・高校生も加わり、若い世代の人材育成、人材交流、継続的な活動に対する理解が拡大しています。



▲ふくしま浜街道・桜プロジェクトの様子

■みんなでやっぺ!! きれいな6国

地元中学・高校生や青年会議所、復興に携わる企業の方等地域の方々が一緒になって、国道6号を一斉清掃する活動です。平成19年度より毎年開催しており、昨年度は約1600人が参加しています。「6国」とは、「6号国道」の略で、福島県浜通りでは国道6号を親しみを込めて「6国（ろっこく）」と呼んでいます。この活動は震災前から行っており、震災後の再開時には原発事故による放射線の影響を気にする批判的な意見などもありましたが、すでに避難指示が解除された地域での活動、子供たちの安全性をPRしながら活動を行っています。



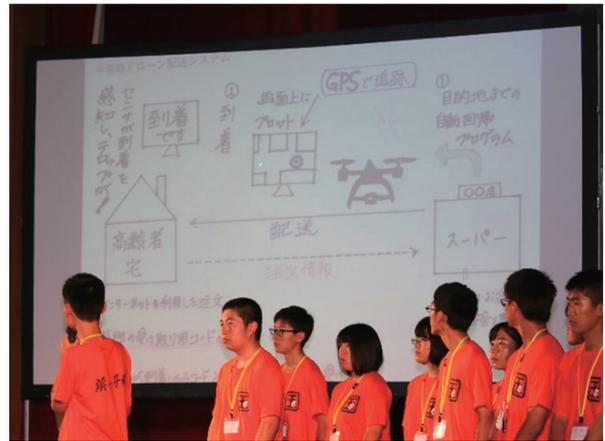
▲みんなでやっぺ!! きれいな6国の様子

■未来のまちづくり・みちづくりフォーラム

地域づくり、まちづくりなどをテーマとした全国の高校生によるフォーラムを平成17年度より行っています。東日本大震災において地震、津波、原子力発電所事故の複合災害に見舞われた福島県浜通りでは、震災の風化や原発事故への適切な認識、風評被害等が課題となっています。そのため、平成30年度からは、「防災」をテーマに、全国の複合災害というリスクを抱える地域の高校生に集まって頂き福島浜通りの現状を実際に見て感じ、道路等のインフラやまちづくりの復旧、整備等の状況を理解し、それぞれの地元で正しい情報を日本及び世界に発信していくという取り組みです。昨年度は、全国の原子力発電所所在道県の高校16校から33名、フォーラム全体で約250名が参加しました。



▲ワークショップの様子



▲フォーラムでの発表

6. 今後の課題について

東北管内の風景街道ルートは、ご紹介したような活発なルートがある一方で、活動が停滞しているルートが存在するのも現状です。活動人員の高齢化や資金不足など、ルートごとに様々な課題がありますが、東北の風景街道ホームページによる積極的な情報発信や団体同士の好事例の共有・交流の場を設けるなど、活性化につながる取り組みを進めています。今後は、ポストコロナの新しい環境を見据えながら、より一層地域とのコミュニケーションを図り、地域の方々と協働して美しい景観づくり、活力ある地域づくりを推進していきたいと考えております。